令和３年度　第１回　運営会議ニュース

日　　時	令和3年4月１１日（日）13：30～15：３０
場　　所	県立座間谷戸山公園　パークセンター（レクチャールーム）
出　席　者	１２名

令和３年度　運営会議会長について、会員の互選により脇田氏を選出した。

～議題～

各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

新型コロナウイルスにより観察会が中止となり、活動を行っていない。本日、園内を回った際に、ウワミズザクラ、エゴノキが開花していたオトシブミが揺籃を作っていた。カルガモのつがいが見られた。

●ふるさとフォーラム

４月 15 日に菖蒲田の草取りを行う。「座間の森」は順調に育っている。

●ホタルを守る会

４ 月 ９ 日にわき水の谷北側休耕田の草刈りを行った。デッキからホタルが観られるように見通しを良くした。また水路の掘り返しを行った。ヤマアカガエルの調査を毎週木曜日に行っている。アズマヒキガエルが産卵をし、湿性生態園、カエル沼で少数の卵塊を確認した。ログハウス横のビオトープでは、約５０卵塊を確認しオタマジャクシになっている。

●谷戸山自然ボランティア（谷戸ボラ）

北駐車場付近のイヌショウマの保護のため、笹の除去をした。シロヨメナの保護を行った。昨年台風で倒れかけたマメザクラを、公園職員が里山体験館横に移植をしたが、順調に花を咲かせた。園内でムサシアブミが増えてきている。

水鳥の池ではコガモ等がいる。シオヤトンボはピザ窯横の草捨て場でよく見られる。

検討、要望事項　①外来植物のシラユキゲシが東８附近で繁殖し始めており対応が必要と思われる。

⇒検討の結果、一定の範囲のみ残し、それ以上に繁殖した場合駆除していく。

②湿性生態園にカルガモのつがいが出入りしている。産卵の可能性があるので、初夏に公園で行う草刈り時期をずらしてほしい。

⇒カルガモに配慮し、時期や場所を考えて草刈りを行う。（公園）

●専門員

アズマヒキガエルの姿を７、８年前は見られなかったが最近では範囲を広げ数が増えている。

カメラ撮影マナーについて

撮影マナーチラシについて、野鳥観察小屋や池のデッキなどの内容を入れた修正を行い配付する。

その他

●厚木土木東部センター

座間南林間線と座間谷戸山公園の都市計画変更素案の閲覧と公聴会の開催について「広報ざま」と「県のたより」に掲載し配架している。ナラ枯れした樹木の伐採が終わり、燻蒸、カシナガホイホイを設置していく。

●公園

５月以降のナラ枯れ対策として、公園作製のクリアファイル製トラップを設置する予定。座間キャンプ渉外課を通して、キャンプ職員・兵隊のボランティア活動の依頼を受けた。今後、各団体と共働についても相談したい。主な年間イベントでは「座間谷戸山公園まつり」が 11 月 28 日に予定されている。

次回開催日時	5月9日（日）13：30～15：00

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。